

特集① Honda の地域に根ざした交通安全活動

生涯教育として 地域の中で継続的に 取り組むために



Hondaの交通安全情報紙
The Safety Japan
Since 1971

●編集室：本田技研工業株式会社 安全運転普及本部内
〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1
TEL 03(5412)1736
http://www.honda.co.jp/safetyinfo/
●編集人：千葉英雄
※年間購読をご希望の方は、下記までお問合わせください。
(株)アストクリエイティブ 安全運転普及本部係
TEL 03(5439)1191 E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

10・11
2009
OCTOBER・NOVEMBER

SJ ホームページは

CONTENTS

特集① Honda の地域に根ざした交通安全活動
生涯教育として地域の中で継続的に取り組むために……①

特集② 安全運転教育用ソフト・Honda セーフティナビ
「環境」と「安全」にやさしい運転を楽しく学んでいただくために……③

危険予測トレーニング (KYT) / 高速道路の合流点で……④

The 教材 / 「交通安全教育マニュアル」……④

SJ クイズ……④

DOCUMENT EYE (23)

高速道路で後部座席同乗者のシートベルト着用状況を観察する……⑤

地域のチカラ / 茨城県の交通安全活動……⑥

現場訪問 / ニッポンレンタカーサービス (株) ……⑦

TOPICS / 2009 トラフィック・セーフティ・フォーラム in 埼玉……⑦

NEWS REVIEW ① / (財)交通事故総合分析センター 第12回研究発表会……⑦

NEWS REVIEW ② / 第41回全国白バイ安全運転競技大会……⑦

教育最前線 / (財)日本交通安全教育普及協会 / 月の輪自動車教習所……⑧

読者の声……⑧



Honda は子どもから高齢者まで、各年代に応じた交通安全教育を全国展開するため、地域に根ざした新たな活動を推進している。Honda の製作所に活動拠点 (普及ブロック) を置き、地域の方々と協働しながら活動を展開するものである。昨年、熊本に始まり、今年4月からは栃木、埼玉、浜松、鈴鹿にも普及ブロックが誕生した。今回は各地区の普及ブロックが中心となり、地域と一体となって進めている交通安全教育の取り組みを紹介する。

栃木普及ブロックが「新町敬老のつどい」の中で実施した「あやとりい 長寿編」のもよう。参加した60名の高齢者がインストラクターの説明を熱心に聞いた

その後、参加者の代表が前に出て、実験が行われた。机の上には内側が見えない筒と、その筒の先に犬のぬいぐるみがある。筒の中に入れて、ぬいぐるみを見ながら、筒の先を動かして、ぬいぐるみが出てくるように動かす。この実験は、高齢者が歩行時に、前方を見ずに歩いている状態を、筒の先を動かして、ぬいぐるみが出てくるように動かす。この実験は、高齢者が歩行時に、前方を見ずに歩いている状態を、筒の先を動かして、ぬいぐるみが出てくるように動かす。

9月13日、益子駅舎多目的ホール (栃木県益子町) で「新町敬老のつどい」が開催され、益子町内の新町地区に住む60名の高齢者が参加した。このイベントの中で、栃木普及ブロックは「あやとりい 長寿編」を使った交通安全指導を行った。

まずインストラクターが、正しい歩き方と歩く場所、そして道路を横断する時に気をつけてほしいポイントをアードバイスする。「横断する前には必ず止まってから、右・左・右を見ましょう。止まることで呼吸が安定して気持ち悪くならず、通行しているクルマや自転車の状況がよくわかりますよ。」

その後、参加者の代表が前に出て、実験が行われた。机の上には内側が見えない筒と、その筒の先に犬のぬいぐるみがある。筒の中に入れて、ぬいぐるみを見ながら、筒の先を動かして、ぬいぐるみが出てくるように動かす。この実験は、高齢者が歩行時に、前方を見ずに歩いている状態を、筒の先を動かして、ぬいぐるみが出てくるように動かす。

上野さんに「あやとりい 長寿編」を紹介した益子町役場総務課・交通安全教育指導員の薄根千明さんは、「あやとりい 長寿編」について「事故防止の基本である『止まる』『見る』の重要性を高齢者にわかりやすく説明しています。また、実験などもあるので、参加者を飽きさせない工夫があります」と話す。

栃木普及ブロックは「あやとりい 長寿編」を益子町のほか、真岡市と芳賀町でも実施している。栃木普及ブロック・秋元信之リーダーは「今年度は製作所がある真岡市とその周辺地域での活動を定着させることを目指しています。まずは、真岡市をはじめとする

通しが悪い場所では、止まってよく見るようにしましょう。」

最後に、動画を使って、同じ速さで歩いている場合、まっすぐな横断と斜め横断では、どちらが渡りきるのに時間がかかるか確認してもらい、「あやとりい 長寿編」は終了した。

主催した新町自治会長で益子町議会議員の上野康雄さんは「あやとりい 長寿編」について次のように評価する。「このイベントは毎年開催しています。今年は参加者のみなさんに『交通安全』について学べる時間を設けようと考えました。町役場を通じて『あやとりい 長寿編』のことを聞き、今までにない教育手法だったので取り入れることにしました。『あやとりい 長寿編』では写真やイラスト、動画を使って説明してくれるので、特に高齢者が見て理解しやすい内容になっています。ホンダがクルマを製造・販売するだけでなく、すべての交通参加者に安全を呼びかけていくという取り組みはたいへん良いことだと思います。」



新町自治会長 (益子町議会議員) 上野康雄さん

すべての交通参加者に安全を呼びかける

地域の指導者が持つ課題を一緒に解決していく

埼玉普及ブロックも高齢者への交通安全教育に力を入れている。10月13日から(財)いきいき埼玉 (埼玉県シルバー人材センター) 連合と連携し、「いきいき運転講座」の普及を開始した。(財) いきいき埼玉・高齢者就業促進課長の関谷正博さんは今回の取り組みについて、次のように話す。「埼玉県



栃木普及ブロックはHondaの二輪販売店のイベントにも協力。栃木県内で開催された試乗会に集まったライダーにAED (Automated External Defibrillator: 自動体外式除細動器) による応急救護について説明した

「今は活動している地域の方々に認知され、信頼されることが大切だと考えています。また、私たち自身も、さまざまな経験を積んで指導力を強化していく必要があります。そうしたことをクリアした上で、活動のエリアを宇都宮市など栃木県全体に広げていきたいと思っています。また、こうした活動を受け継いでいただける指導者の養成にも力を入れていきたいと思っています。」

自治体にホンダが持っている交通安全教育と手法を説明してきました。どの自治体も高齢歩行者の事故防止が課題となっていたため、「あやとりい 長寿編」は関心を集めました。10月以降は小学生向けの交通安全教育プログラム「あやとりい」も真岡市などの小学校でスタートします」という。

「今は活動している地域の方々に認知され、信頼されることが大切だと考えています。また、私たち自身も、さまざまな経験を積んで指導力を強化していく必要があります。そうしたことをクリアした上で、活動のエリアを宇都宮市など栃木県全体に広げていきたいと思っています。また、こうした活動を受け継いでいただける指導者の養成にも力を入れていきたいと思っています。」



「新町敬老のつどい」で腹話術を使った交通安全講話を行う益子町役場総務課・交通安全教育指導員の薄根千明さん

※1 あやとりい=鈴鹿普及ブロックが鈴鹿市と協力して開発した交通安全教育プログラム。幼児向けの「あやとりい ひよこ編」、小学3・4年生向けの「あやとりい」、小学生向けの「あやとりい 自転車教室」、高齢の歩行者・自転車利用者向け「あやとりい 長寿編」がある。あやとりいは「あぜんを やさしく ときあかし りかいて いただく」の略。詳細は右記ホームページを参照。http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/ayatori/

内には、シルバ
ー人材センター
または高齢者事
業団と呼ばれる
団体が各市町村



(財) いきいき埼玉
高齢者就業促進課長
関谷正博さん

に68団体あります。60歳以上の働く意欲の
ある高齢者が会員として、約5万人登録し
ていて、臨時的・短期的また軽易な業務に
就業しています。近年、会員の交通事故が
増加しており、事故防止のためには、一人
ひとりの安全意識を高めることが重要だと
考えています。今回、埼玉普及ブロックに
協力を得て、会員の交通事故防止に取り組
むことにしました。『いきいき運動講座』
は、一方的に話を聞くだけではなく、受講
者自身が主体的に考え学ぶカリキュラムと
聞き、参加者の交通安全意識を高めるのに
有効であると考えています。68団体から1
名ずつ参加してもらい、この方々には各団
体での交通安全の面でリーダーになってい
ただくことを期待しています。』

埼玉普及ブロック・猪俣薫リーダーは
「いきいき運動講座」が財団に定着するま
で、継続的にフォローしていきたい」と話す。
「自動車業界としての活動、さらにホン
ダの企業活動として安全運転の普及に取り
組んでいることを聞きし、とても社会的
に重要な活動だと思いました。高齢者の事
故をいかに防止するかが私たちの課題で
す。これからは、会員の事故防止のために
協力してほしい」と、いきいき埼玉の関谷
さんは埼玉普及ブロックに期待を寄せます。

一方、子どもへの普及活動では、狭山市
の交通安全指導員に「あやとりい」の指導
ノウハウを提供している。狭山市には17名
の指導員があり、実際に小学校における交
通安全指導の中に取り入れられているようだ。
「幼いお子様が亡くなるような痛ましい事
故を一件でも減らしたい」と猪俣リーダー。
「交通安全教育の現場で活躍している指導



埼玉普及ブロックは5月17日、東
京・お台場で開かれた「モーター
サイクルフェスティバル」で親子バ
イク教室を実施し、60名を超える親子
を指導

者の方は、困りごとや悩みごとをお持ちの
はず。私たちは、それらを一緒になっ
て解決していくというスタンスで、地域の
方々と連携して交通安全教育を推進してい
きたいと思っています。』

地域の実態に合わせて ノウハウを提供

浜松普及ブロックは、高齢者の事故とと
もに学生の自転車事故が浜松エリアで多い
ことから、地元の浜松中央警察署と連携し
て、学生への交通安全教育に取り組んでい
る。浜松市内にある静岡県立浜松工業高等
学校、中野学園オイスカ高等学校、静岡県
立気賀高等学校で、浜松普及ブロックのイ
ンストラクターがホンダ自転車シミュレー
ターを活用して自転車の安全な乗り方を生
徒に指導した。10月には中学校でも同様の
自転車教育を実施した。

浜松普及ブロックが連携している浜松中
央警察署・静岡県係長交通安全指導員の村
越浩美さんは「自転車シミュレーターは危
険な乗り方をしたらどうなるか安全に体験
できるので、中学生・高校生への指導に有
効だと感じました。また、他の生徒の体験
の様子を画面で見ることができ、どのよう
な運転が危険なのか生徒自身に気づいても
らえると思います」と自転車シミュレータ
ーによる教育効果を語る。「ホンダは交通
事故の削減・防止という私たちと同じ目標
を持ち、長年にわたる活動の歴史の中で築
き上げてきた実績があるので、参考になる
点は指導に取り
入れています。』
浜松普及ブ
ロック・錦織朝史
リーダーは「私
たちが指導するだけでは、活動に限界があ
るので、ホンダのノウハウを提供すること
で新たな指導者を各地域に養成していくこ
とがこれからも重要だと思っています。静
岡県の富士宮地区では交通安全指導員の方
が高齢者の交通安全教室を実施するとい
うことで、10月に『いきいき運動講座』の
ノウハウを提供しました。今年度は、浜松市
内を中心とした活動をしてきましたが、こ



浜松中央警察署・静岡県
係長交通安全指導員
村越浩美さん



浜松普及ブロックが中野学園オイスカ高校で実
施した自転車安全運転教室。生徒にHonda自
転車シミュレーターを体験してもらうだけで
なく、インストラクターが高校付近の危険箇所
、交差点の通行方法など写真やイラストを交えて
説明した

ホンダのノウハウを 受け継ぐ指導者をつくる

鈴鹿普及ブロックも今年4月の発足であ
るが、前身である鈴鹿モビリティ研究会か
らの16年の実績がある。鈴鹿市と協力しな
がら市内の事故分析を行い、それをもとに
「あやとりい」などの交通安全教育プログ
ラムの開発を担ってきた。さらに毎年、鈴
鹿市内の幼児から小・中・高校生、高齢者
を対象に、年間約200回の交通安全教室
を開催し、実際に指導を行っている。

「鈴鹿普及ブロックは既に子どもや高齢
者への交通安全教育のノウハウを持ってい
ます。他の地区に普及ブロックが立ち上が
った今年度に限っては、自分たちの近隣地
区だけでなく、他の普及ブロックの活動を
サポートすることも重要な責務です」と鈴
鹿普及ブロック・喜井美雄リーダーは
う。8月6日には栃木普及ブロックと連携
して、茨城県における「平成21年度幼児交
通安全教育指導者講習会」での講演を行っ
ている（6面参照）。

また、鈴鹿普及ブロックでは提携してい
る指定自動車教習所の活動にも協力してい
る。7月16日、デルタ自動車教習所（京都
市右京区）が京都府立朱雀高等学校の生徒
を対象に開催した自転車交通安全教室で
は、鈴鹿普及ブロックのインストラクター
がホンダ自転車シミュレーターを活用し
て、自転車運転時の危険予測のポイントを
説明した。
10月3日には、三重県四日市市が主催す
る「レッツトライしてんしゃ」というイベ

ントに協力。「この中で幼
児と小学生を対象にした自
転車教室を行いました。指
導は私たちではなく、四日
市市の交通安全指導員が担
当します。この交通安全指
導員のみならず、鈴鹿普
及ブロックにホンダの自転
車教育のノウハウを学びに
来てくれています。こうし

てホンダのノウハウを受け継いでいただけ
る指導者を各地域にたくさんつくること
が普及ブロックの使命です」。

喜井リーダーは今後、鈴鹿市など三重県
内から活動エリアを広げていく上で次のよ
うな点に気をつけている。「教材やマニ
ュアルはしっかりしたものがあります。しか
し、それらを地域の指導者に渡すだけでは
効果のある教育はできません。地域の事故
実態や課題に合わせて、私たちが実際に指
導する方々と、その地域に合った内容に調
整していくための作業がたいへん重要にな
ってきます」。

こうした過
程があつて
はじめて、
私たちが目
指す『手渡
しの安全』に
なるのです」。



鈴鹿普及ブロックがデルタ自動車教
習所に協力して行った京都府立朱雀
高校での自転車交通安全教室

高校・大学で 二輪通学者への安全運転 普及活動を開始

熊本普及ブロックは昨年4月に活動を開
始して、1年半が経過した。熊本普及ブ
ロック・高橋岳博リーダーは「熊輪会と協
力して実施している、各お取引先様の従業
員とそのご家族等地域の住民を対象とし
た『親子交通安全教室』は、昨年度の4地区
から今年度は8地区まで拡大しています。
また、熊本県交通安全協会の交通安全教育
講習員11名に『あやとりい』の指導ノウ
ハウを提供しました。現在、講習員の方々は
それぞれの担当地区で『あやとりい』を展
開しています」と話す。

今年度は高
校生・大学生
向けの安全運
転普及活動も
始まってい
る。まず、熊
本県立大津高
等学校で二輪
通学者53名を
対象に、7月13日、15日、二輪安全運転教
室を実施した。内容は座学だけではなく、
パイロンスラローム、急制動など「走る・
曲がる・止まる」という基本を身につける
ための実技も行われる。被害事故にあうケ
ースが多いという同校の事故実態をふま
え、熊本普及ブロックのインストラクター
がクルマから見た死角について生徒に体験
してもらいながら説明した。10月には、立
命館アジア太平洋大学（APU・大分県別
府市）でも二輪通学者に対する安全運転教
室を実施した。



熊本普及ブロックが熊本県立大津高校で
実施した二輪安全運転教室

各地区普及ブロックの問い合わせ先

Hondaのノウハウを活用した交通安全教育
を実施したいという自治体、警察、団体の方
は最寄りの普及ブロックにご相談ください。

- 栃木普及ブロック（栃木県真岡市）
TEL. 0285-84-7114
- 埼玉普及ブロック（埼玉県狭山市）
TEL. 04-2955-5323
- 浜松普及ブロック（静岡県浜松市）
TEL. 053-439-2316
- 鈴鹿普及ブロック（三重県鈴鹿市）
TEL. 059-370-6263
- 熊本普及ブロック（熊本県大津町）
TEL. 096-293-3206

※2 いきいき運動講座＝（社）日本自動車工業会が開発した高齢ドライバー向け交通安全教育プログラム。4種類の「交通安全トレーニング」と、「交通脳トレ」で構成される。詳細は右記ホームページを参照。http://www.jama.or.jp
※3 Honda自転車シミュレーター＝自転車利用者のマナーや危険予測能力を高めることを目的に、Hondaが開発した体験型教育機器。詳しくは右記ホームページを参照。http://www.honda.co.jp/simulator/
※4 熊輪会＝本田技研工業（株）熊本製作所および九州エリアの協力会社38社で構成される組織。会員企業38社のうち9社が地域で安全運転普及活動を実践するためのHondaパートナーシップ・インストラクターを養成している。

特集② 安全運転教育用ソフト・Hondaセーフティナビ

「環境」と「安全」にやさしい運転を 楽しく学んでいただくために

Hondaは「Hondaセーフティナビ（以下、Sナビ）」を今年5月に発売した。これはHondaのシミュレーター技術を最大限に活かし、より幅広い普及をめざして開発された安全運転教育用ソフトである。このSナビを導入し、エコドライブや安全運転の教育に活用している四輪販売会社や団体を紹介する。



Honda Cars 神戸では9月19～23日に全店でSナビを使ったコンテストを実施。期間中、多くのお客様がSナビを体験した



ソフトと推奨ハードがセットになったパッケージキットは29万8000円(消費税込み)。下記ホームページにてHondaセーフティナビの動画をご覧いただけます。
<http://www.honda.co.jp/simulator/>

Sナビは市販のパソコン、ハンドルやペダルなどと組み合わせることで、簡易型シミュレーターとして手軽にエコドライブや安全運転のポイントを学べるのが特徴である。机一つほどのスペースで使用でき、画面と音声に従うだけで、指導者がいなくても学習することが可能。燃費の良い運転方法を理解しながらエコドライブのポイントを学べる「エコドライブ」と、雪道や夜間・雨天時などさまざまな道路状況で想定される危険を踏まえた安全運転のポイントを学べる「SD(セーフティ・ドライビング)コーチャー」の2種類で構成されている。

全ショールームにSナビを設置

ホンダの四輪販売会社の中にはSナビを導入し、来店したお客様への店頭指導に活用しているところがある。その1つが、ホンダカーズ神戸(本社・兵庫県西宮市)だ。Sナビ導入の背景を同社総務課長の財前辰也さんは次のように話す。

「私たちはSナビの『エコドライブ』とい

う機能に興味を持ちました。来店されるお客様のエコへの関心は高くなっています。Sナビをショールーム内に設置することで、多くのお客様にエコドライブを気軽に学んでいただけると考えました。

ホンダカーズ神戸では12あるすべてのショールームにSナビを設置し、9月から運用を開始している。「Sナビの『SDコーチャー』の中にある『ドライブ検定コース』では、走行後に自分の運転内容などが点数化されます。その機能を使って、一定の点数をクリアしたら、プレゼントを差し上げるといったコンテストを、9月19日から23日の連休期間中に実施したところ、多くのお客様にSナビを体験していただくことができました。



Honda Cars 神戸は12あるすべてのショールームにSナビを設置

9月20日、ホンダカーズ神戸・西宮店でSナビを体験したお客様お二人にお話をうかがった。「ドライブ検定コース」にチャレンジした松田佑介さんは「こうしたソフトを使って、自分が安全運転できているかどうか、気軽にチェックできる機会を設けるのは良いことだと思います」と語る。「エコドライブ」を体験した辰巳和彦さんは「今までクルマに『フューエルカット』という機能があることを知りませんでした。今回、Sナビによってこうしたエコドライブの知識を学べ、スタッフの方からも燃費を向上させる運転についてアドバイスをもらうことができ、たいへん有意義でした」と感想を述べた。

エコドライブを多くのお客様に伝えたい

ホンダカーズ神戸・西宮店では、毎

Hondaの四輪販売会社でエコドライブを指導できるスタッフを育成

Hondaでは、お客様にエコドライブのアドバイスができる四輪販売会社のスタッフを養成している。今年4月から全国各地の四輪販売会社で、「エコドライブアドバイス研修」が実施され、9月4日までに297人が受講した。研修では、スタッフが店舗周辺の道路でエコドライブを実践した運転と、そうでない運転での燃費を比較しながら、お客様にアドバイスするためのポイントを学んでいる。



のカタログを見る機会がありました。運転状況を採点してくれる機能などがあるので、これは高齢者の方々に自分の運転を振り返っていただくのに最適な教材だと感じ、Sナビを導入したのです。9月1日には、Sナビを活用した初めての交通マナー教室を公民館で開催し、地元老人クラブ

の代表者や自治体の交通安全担当者、高齢者リーダーにSナビを体験していただきました」と同協会事務局長の松本正輝さんはいう。

秋の全国交通安全運動期間中の9月25日、1市3町の交通関係機関・団体から多数が参加して開催された「若狭交通安全大会」でも、会場内にSナビが展示された。体験した来場者からは、「画面の中で事故を起こしてしまいました、それによって右左折する時、何に注意すべきか再確認することができました」という声が聞かれた。



Honda Cars 神戸西宮店 店長・後垣内利弘さん

「Sナビは持ち運びが容易で、操作も難しくありません。私たちが老人クラブの会合などにSナビを持ち込めば、多くの高齢者の方々に安全運転教育ができます。当協会の講習会やイベントだけでなく、自治体や警察からの要請があれば、どんどん貸し出ししていきたい」と松本さんはSナビによる安全運転教育をさらに推進していきたいと考えた。

高齢ドライバーへの教育に役立てる

Sナビを高年齢ドライバーの安全運転教育に活かしているのが、若狭交通安全協会(福井県小浜市)である。

「私たちが管轄している1市3町(小浜市、若狭町、おおい町、高浜町)では、高齢者の事故防止が大きな課題です。自治体との会議で、Sナビ



9月25日に開催された「若狭交通安全大会」では会場にSナビの体験コーナーが設けられ、集まった交通安全関係者が体験した

※1 ドライブ検定コース＝画面上にあらわれる検定員の指示により走行体験だけでなく、交通法規に関するクイズが出題され、ゲーム感覚で楽しく安全運転を学べる機能。
※2 フューエルカット＝一定以上のエンジン回転でアクセルから足を離すと燃料の供給が停止される機能。燃料を使わずに走行する距離が伸びるので、平均燃費は向上する。
※3 安全ミニ講習会＝「日常点検」や「タイヤ交換」など店頭や駐車場などで、日常の安全運転に役立つポイントをお伝えする講習会。

Sナビに関するお問い合わせは安全運転普及本部 教育機器課へ
TEL:048(452)0559 <http://www.honda.co.jp/simulator/>